



VIETNAM DAILY REVIEW

お問い合わせ フリーダイヤル: 0120-935-869
ホームページアドレス: <http://www.orient-sec.com>

2009年11月10日(火)

マーケット情報

ホーチミン取引所(HOSE): 乱高下後、続落

NYダウと日経225が大幅上昇したにも拘らず、本日のベトナム市場は下落した。国内の金取引が活発になっており、資金が一旦株式市場から金に流出しているとの見方もある。VN指数は一時小幅上昇したが、利益確定の売りで底値買いの交錯で乱高下。結局、-9.69ポイント(-1.81%)と2ヶ月ぶりの水準となる524.4ポイントに戻った。出来高は5023万株、売買代金が2兆3099億ドンと増加。個別では、ベトナム海運商船(VST)+4.7%、トゥリム都市開発(NTL)+3.7%など足元の業績が好調な海運と建設銘柄が買われた。サイゴン証券(SSI)は-2.37%、サコムバンク(STB)-1.08%と低調だが下落幅は縮小。利益確定の売りが薄くなったので、明日は反発するだろうか?

ハノイ取引所(HNX): 下落

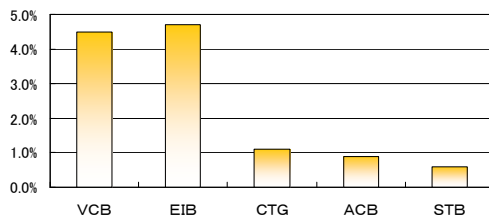
本日のHNX指数は-4.47ポイント(-2.46%)の177.34ポイント。出来高は2504万株、売買代金が1兆27億ドンと増加。

トピックス

○10月、不良債権比率が減少

ベトナム中央銀行(SBV)の最新レポートによると、10月のベトナム銀行全体の不良債権比率が減少していることが明らかになった。要因は経済対策の中心である低金利貸出プログラム企業が積極的に利用した結果との見方が強い。その他、2008年に低迷した株式市場と凍結した不動産市場が活性化し、不動産ローンや株式投資ローンの返済が改善した。個別では、ベトナム銀行(VCB)は2008年の4.5%から3%に減少、エクシムバンク(EIB)も4.71%から2%強に改善。不良債権比率が低いアジアコマーシャル銀行(ACB)とサコムバンク(STB)は1%以下で推移する見込み。

08年不良債権と09年9月まで業績一覧 (データ: 各行、単位: 億ドン)



銘柄	税引前利益	利益計画	前年同期比	EPS(ドン)	PER(倍)
STB	15,350	16,000	+61.2%	2,320	11.8
ACB	18,000	27,000	+35.5%	4,240	9.6
SHB	3,365	3,350	-	1,640	16.3
CTG*	20,780	25,930	-	1,600	19.0
PVF	7,620	4,500	+53.3%	390	81.3
VCB	37,940	33,000	+116.0%	3,240	15.3
EIB	11,630	15,000	-	1,052	24.6

本日の注目発表

□カレンダー

権利落ち

- 11/10 TMP普通配当500ドン/株、支払予定日: 11/27
- 11/10 MCG普通配当1000ドン/株、支払予定日: 11/30
- 11/10 CSG 普通配当400ドン/株、支払予定日: 12/1
- 11/12 DHG 無償増資3:1、発行予定日: 12/25
- 11/12 NKD 普通配当1200ドン/株、支払予定日: 11/30
- 11/12 HDC 株式配当10:1、発行予定日: 2010/2/5
有償増資100:22.87、発行予定日: 2010/2/5
- 11/16 VSH 普通配当1000ドン/株、支払予定日: 12/18
無償配当2:1、発行予定日: 12/28
- 11/17 VTO 普通配当400ドン/株、支払予定日: 10/2/4
有償増資3:1、販売価格: 1万ドン発行予定日: 12/28
- 11/25 TBC 普通配当700ドン/株、支払予定日: 12/21

上場

- 11/12 VNS 追加上場 30万株

□対VND為替レート

通貨	TTB	TTM	TTS	通貨	TTB	TTM	TTS
AUD	17,199	17,303	17,605	JPY	205	207	211
EUR	27,874	27,958	28,390	SGD	13,357	13,451	13,659
GBP	31,021	31,240	31,722	THB	553	553	578
HKD	2,391	2,407	2,445	USD	17,872	17,872	17,872

(出典: ベトナム銀行)

□内部者等株式買取・売却発表

- OPC: サイゴン証券(SSI)系ファンドが13万9860株を買い入れ、保有比率を12.42%に引き上げた。
- SAV: サイゴン証券(SSI)系ファンドが13万3250株を買い入れ、保有比率を11.18%に引き上げた。
- VID: サイゴン証券(SSI)系ファンドが16万1360株を買い入れ、保有比率を4.99%に引き上げた。
- SVC: サイゴン証券(SSI)系ファンドが116万4780株を買い入れ、保有比率を13.62%に引き上げた。
- IMP: バンベト証券医療ファンドが13万7530株を買い入れ、保有率を6.24%に引上げた。
- ITC: プルデンシャル系ファンドが26万6540株を売却した。

□上場企業関連ニュース

- DPR: 10月の営業状況を発表した。1~10月累計の天然ゴム生産量は12653トン、年間計画の77%。売上高が4547億ドンと年間計画の100.5%を達成した。天然ゴム価格の上昇により、10月販売価格は年間平均より20%増。
- VIC: 転換社債1億5000万ドルを発行した。調達した資金は展開しているプロジェクトに投資する予定。
- カシュミナ(CSM): 株式配当と無償増資合わせて10:3比率で第4四半期(10~12月期)に実施する予定。
- BCC: 12月に新しいセメント生産プラントを完成見込み。生産能力200万トン/年。
- DCT: 有償増資2:1を株主総会承認。販売価格1万ドン、発行株数: 907万4,549株。権利落ち日: 未定。

オリエント証券株式会社【関東財務局長(金商)第54号】

加入協会 日本証券業協会 主な事業 金融商品取引業

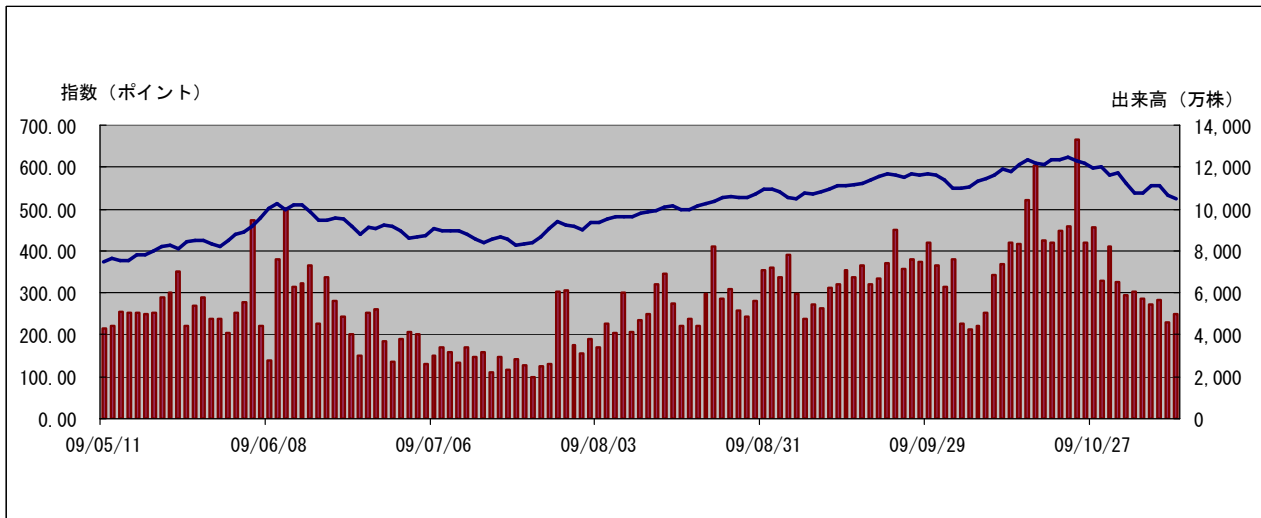
外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。ベトナム株式への投資には、基本取扱手数料(約定代金×2.10%(最低手数料 800,000ドン))(税込)が必要です。外国株式の売買にあたり、円貨と外貨を交換する場合には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。



□ VN 指数

VN 指数	524.40	前日比	-9.69	前日比 (%)	-1.81
全出来高 (万株)	5,248	値上り銘柄数	27		
売買代金 (百万 VND)	2,337,955	値下り銘柄数	141		

□ VN 指数チャート(日足6ヶ月)



□ HOSE 値上り・値下り上位5銘柄

値上り上位5銘柄				
コード	銘柄名	終値	前日比	売買代金
DDM	ドンド海運	13.1	+4.80	4,652
BT6	チャウトイ・コンクリート	66.0	+4.76	550
TMS	トランシメックス・サイゴン	35.6	+4.71	2,220
VST	ベトナム海運商船	22.4	+4.67	18,495
HBC	ホアビンビル建設管理	36.5	+4.29	8,885

値下り上位5銘柄				
コード	銘柄名	終値	前日比	売買代金
MCG	第2電力建設コンサルティング	45.8	-15.19	25,485
CAD	カドビメックス水産	15.2	-5.00	5,123
COM	資材・石油	57.0	-5.00	872
DHA	ホアアン	41.8	-5.00	7,618
IFS	インターフード	11.4	-5.00	181

※終値は1千 VND、前日比は%、売買代金は百万 VND

□ HOSE 売買代金上位5銘柄

コード	銘柄名	終値	前日比	売買代金
SSI	サイゴン証券	82.5	-2.37	247,990
STB	サイゴン商信株式会社商業銀行	27.4	-1.08	110,028
HPG	ホアファットグループ	62.5	-3.85	85,134
REE	リー冷蔵電気工業	47.5	0.00	80,022
NTL	トゥリム都市開発	141.0	3.68	78,081

※終値は1千 VND、前日比は%、売買代金は百万 VND

オリエント証券株式会社【関東財務局長(金商)第54号】

加入協会 日本証券業協会 主な事業 金融商品取引業

外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。ベトナム株式への投資には、基本取扱手数料(約定代金×2.10% (最低手数料 800,000ドン)) (税込)が必要です。外国株式の売買にあたり、円貨と外貨を交換する場合には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。